



1. 新たな拠点としてのスタートを祝う / 2. 障がいがある人の就労を支援する「ワークスペースとみの」には、LED水耕栽培ができる設備が設けられた / 3. 誰でも立ち寄れる「ふらっとサロン」には交流スペースや運動器具が設置された / 4. 富野小学校の面影があちこちに残る

「学校から福祉と交流の場へ」

富野小学校を利用した総合福祉施設「とみのランド」の開所式が行われました。式では施設を運営する社会福祉法人嘉啓会高野啓子理事長が「市内初の小学校の利活用として、地域貢献に努めていきたい」とあいさつ。須田市長は「地域と共生の理念に基づくこの施設の開所に期待します」と祝辞を述べました。施設には、地域交流スペースが設けられ、住民が自由に利用できます。

市長コラム



第32回 ワクチン接種が始まります

新型コロナウイルス感染症対策の切り札として期待される高齢者へのワクチン接種が、4月26日から市内5つの体育館で順次開始されます。65歳以上の対象者約22,000人に対し、初回に供給されたワクチンは1,440人分と非常に少なく、短時間で予約が終了してしまいました。「いくら電話をかけてもつながらなかった」など、多くの人的ご希望に応えられなかったことをお詫びいたします。

今回の結果を踏まえ、次回予約枠からは、“電話回線を増やす”“電話予約枠を設定する”などの対応をまいります。

さて、厚生労働省は、今年2月時点の数値として、新型コロナウイルス感染者の“重症化率”を公表しています。30歳代を1とすると、60歳代は25倍、70歳代は47倍、80歳代は71倍、90歳以上は78倍となっており、年齢が上がるごとに重症化する割合は非常に高くなっています。

そうした状況を踏まえ、市民の皆さまにお願いします。国が示したワクチン接種の優先順位は65歳以上からとなっており、市では初回、それに基づき予約いただいたところですが、次回予約からは、ワクチンの供給量を踏まえながら、重症化しやすいより高齢の人、具体的には後期高齢者となる“75歳以上の”の接種を優先させていただきたいと思っております。

また、クラスター対策を推進するため、高齢者施設内接種を進めます。そして順次、65歳から74歳の人、高齢者以外で基礎疾患のある人、16歳から64歳の人へと接種を進めてまいります。

なお、次回以降の接種は、各体育館での「集団接種」とかかりつけ医での「個別接種」を並行して行います。日程および予約方法については、対象者に直接通知しますので、そちらをご確認ください。

ワクチンは順次供給され、希望する全ての人の間違なく接種できますので、安心してお待ち願います。市では、市民の皆さまが一日も早く日常生活に戻れるように、接種体制に万全を期してまいりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、ワクチン接種は、伊達医師会、伊達薬剤師会をはじめ医療関係の皆さまのご協力によって初めて実施できるものであり、ご協力いただく皆さまに対し、心から感謝申し上げます。

須田 博行